

# 緊急呼出パネルおよび緊急通信システム(特許第3874773号)

## 技術的特長

緊急呼出パネルは、定型通報に対応して予め割り当てた通報ボタンと、選択した定型通報内容をコールサーバに送る送信ボタンを備えている。これをエマージェンシーコールサーバに組み込み緊急通信システムとした。

## 発明の効果

緊急呼出パネルをネットワークに組み込むことで、従来の緊急通信システムがボタン操作だけで迅速に簡単に制御できるようになった。

## 本特許の活用用途

緊急通報システムに不慣れな人にとって同システムを簡単に迅速に操作することができる。

(1) 自治体 (2) 公共インフラ機関 (3) 安全・危機管理関連産業

緊急通報内容を選択するボタンと送信ボタンを  
パネル化し、緊急通信システムに組み込んだ

ご相談は下記まで御連絡ください

〒319-1195

茨城県那珂郡東海村白方白根2-4

TEL:029-282-6467

FAX:029-284-3679

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構  
研究連携成果展開部

# 特 許 内 容

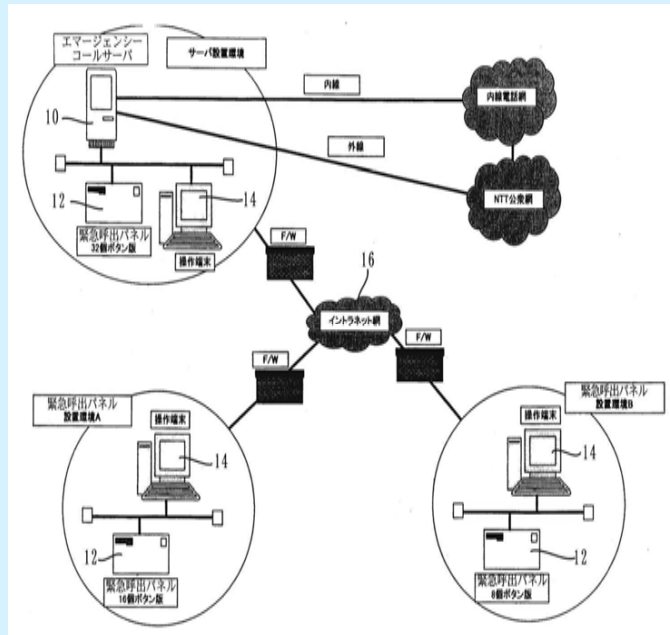
## 従来の問題点

従来の緊急通信システムを実行するためには、操作端末のコンピュータの操作画面、携帯電話の操作画面を開いて行わなければならない、また、固定電話では音声応答に従って行わなければならない。

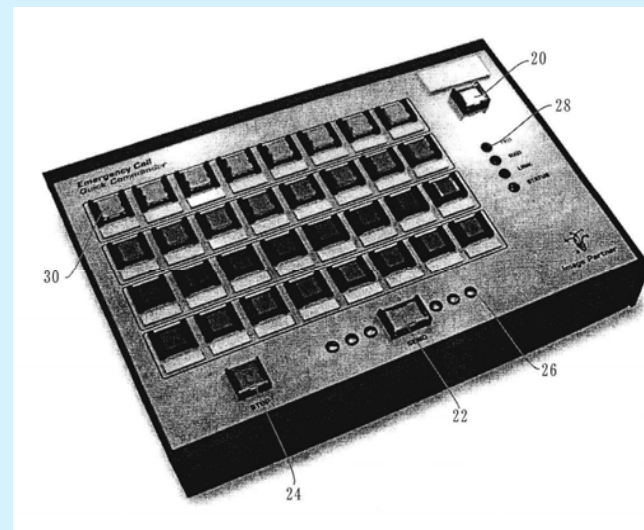
## 本特許の具体的内容

### 1. 【図1】に配備例を示す。

- (1) サーバ設置環境に、エマージェンシーコールサーバ10、緊急呼出パネル12(32個ボタン版)、操作端末14を配備。
- (2) 緊急呼出パネル設置環境Aに、緊急呼出パネル12(16個ボタン版)、操作端末14を配備。
- (3) 緊急呼出パネル設置環境Bに、緊急呼出パネル12(8個ボタン版)、操作端末14を配備。
- (4) 緊急呼出パネルの配備は任意の地域でよく、また備えるボタンの数も任意のものである。

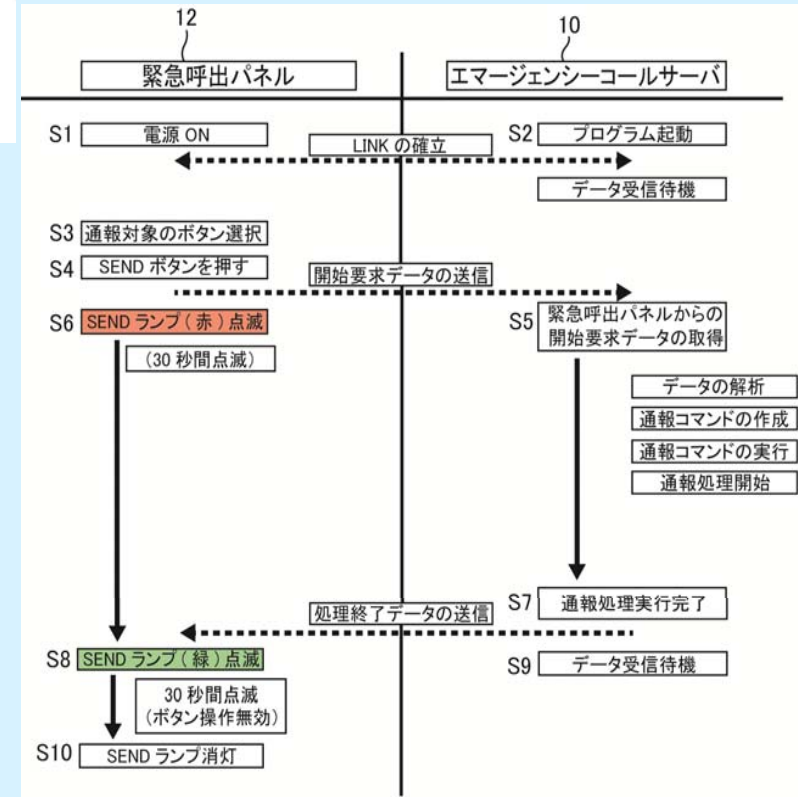


【図1】緊急呼出パネルを配備した緊急通信システムの全体の構成を示す概略配置図



【図2】ボタン数が32個の緊急呼出パネルを示す斜視図

- 10: エマージェンシーコールサーバ
- 12: 緊急呼出パネル
- 14: 操作端末
- 16: イン트라ネット
- 20: パワーボタン
- 22: 送信ボタン
- 24: 停止ボタン
- 26: 送信ランプ
- 28: 機器ステータスランプ
- 30: 通報ボタン



【図3】コールサーバと緊急呼出パネルによる通報処理の流れを示すフローチャート